

Level3

ベクトル化してみよう

- (3) (2)で選んだ固有表現 2 件ならびに全文書について BoW, TFIDF, word2vec いずれかでベクトル化し、最大類似文書上位 3 件を類似度とともに示せ。また類似文書について、類似度合いがどのぐらい妥当か主観で評価せよ。

ベクトル化をする際に用いた方法：Bag of Words

(2)で選んだ固有表現：草食男子，婚カツ女子

実行結果

草食男子の場合(草食男子は”草食”，“男子”に分類されたため、両方の出現数を調べた)

```
草食 男子
(0, 1886)    1
(0, 2102)    1
similarity = 0.074 => 「いいなーと思う30代独身男はみんな売却済だもんねー」というのは、独女たちにとって、もやはお決まりのセリフ。30代独女たちに「出会い系」について聞いてみると、飲み会や友人の紹介で知り合う「いいな」と思う独身男性は大抵が20代半ばだそう。素敵な30代独身男性を見つけるのは至難の業なのだ。そんな数少ない(?)30代独身男性ケンタクンと飲み会で知り合ったミサキさん(34歳)は、ケンタクンに対し「頼もしい感じでグイグイ引っ張ってくれそう」と好印象。お互い電話番号とメアド交換をした直後、彼から電話がきたという。「最初の電話で彼自身のことを延々と2時間聞かされました。一語一語辞いしれながら自分ヒストリーを語るっていうのかな。さすがに2時間は疲れちゃったけど、いい人そうなのでアリかなと思ったんですね」というミサキさん。その後、彼と食事の約束をして初デートに挑んだ。「彼の話は、とにかく自分の夢物語ばかり。映画は『ノッティングヒルの恋人』が好きで何十回も観てるなどとか、海外で音楽プロデューサーをやりたいなどとか、現実味のない話を語っては一人悦に入っていました。だって、実際は30すぎの普通のサラリーマンですからね。もちろん、それ以来会っていません」モテない男性のダメな部分ランキング(gooランキング調べ)によると、「自分の話ばかりする人」が5位にランキング入り。また、今回の取材でも30代男性に限らず、「自分の話ばかりする人はイヤ」という意見が圧倒的が多く、その他、「人の話をきかない人」「自慢ばかりする人」「面倒くさい人」と続いた。飲み会で隣に座った30代独身男性タツヤクンから「男は年収だ」と言われたマキさん(35歳)は、「そんなに自慢するほどの年収でもないのに、『俺、年収○○○万だから』と豪語してました。『男はカネだ!』という時代って終わっていませんか?」その後、何度も彼から電話がありましたが相変わらず自慢ばかり。モテ自慢、エリート自慢、仕事できる自慢。悪いけど正直、そんなにモテそうな人ではありませんでしたよ(笑)」また、ジュリさん(30歳)は、よく行くバーで何度も顔を合わせたことのある30代独身男性リョウクンからデートに誘われた。「まあ、成り行きでホテルに行きました。そこから発展する恋愛もアリだと思っているので。Hをした後、『オマエ、オレのこと好きになっただろ』って。いきなりオマエ呼ばわりだし、昔のドラマのようなセリフで自己陶酔している彼に興奮めにしてしまって、何も言えませんでした」その後、彼から着信や女らしいメールが何度も来て困ったというジュリさん。残念なのは、もうなじみのバーに行けなくなってしまったことだ。最後に、ユウコさん(33歳)のエピソードをご紹介しよう。「飲み会で知り合った30代独身男性カズトシクンと初めてのデートをした時、彼が『芸能人で誰が好き?』と聞いてきたので、適当に『松潤』と答えたたら、『俺じゃん!』と返答され、本当に困りました。冗談ではなくて本気だったので、ボカーンとしてしまって(笑)。うーん、松潤に似ているとしたら顔が濃いところだけかな。リリー・フランキーさんあたりに『オマエは松潤というよりは、ねづっちに似てる』とか言ってもらって、目を覚ましてもらいたいですね。彼はかなりの勘違い野郎だけど、今のところ許せる範囲なのでおつきあいしています」草食男子に物足りなさを感じている独女たちにとって、ちょっとくらいオレオレ的なところがある男は非常に魅力的なのだが、自分の話ばかり、自慢ばかり、面倒くさいオレオレ男子ともなると手に負えない。妥協するべきか、このまま突き進むべきか。独女たちにしてみても、妥協できない自分に「これくらいの我慢は必要なのかも」と自己嫌悪に陥り、妥協したらしくて「これでよかったのかな」と躊躇し、どちらも答えが出せないのである。しかし、どこかで踏ん切りをつけることも必要かもしれない。草食でもない、オレオレでもない、脂がのっている30代男性はどこにいるのやら。あ、そういう人は街でベビーカー押してるのか...。(オフィスエムツー/堂ナツコ)
```

草食 -> 2, 男子 -> 2(草食男子 -> 1)

similarity = 0.045 => 独女編集部、独女代表Mです。韓国では、天安艦事件が起こり物々しい雰囲気に包まれていますが、日本の独女にも、影響が飛び火するような出来事が起こりました。それは先日、韓国人のカレを持つK子（27歳）から、衝撃の告白を受けました。「実は、カレシが徴兵されることになったの……」なんだか最近、様子がおかしいと思ったら……。何を話してもうわの空だった理由がわかりました。韓国に徴兵制度があるといふのは、韓流スターのニュースなどでなんとなく知っているという女子も多いのではないかでしょうか？ただ、徴兵制度のない日本人の私たちにとって、その実情にピンと来ないのが本音のところ。時に、日本も徴兵制度をとるべき、との意見を主張する著名人もいますが、しかし、韓国人のK子の彼に言わせると、徴兵制度は「牢屋にぶち込まれるようなもの」と思うほどに苦痛なものなのだそう。「でも、2年間で帰ってくるんだよね？」と、私が訪ねると、「新米で何の訓練も受けてない若者の兵士は、危ない任務につかされることが多いみたい。最初の1ヶ月は、交通事故よりも死亡率が高いみたいなの」と、K子。思わずK子に「本末転倒じゃ……。訓練を受けてないと危険な任務もこなせないので？」と聞いてしまいました。「だから来週、仕事を急遽休んで、万が一に備えて、会いに行くてくるわ！」と話すK子も、彼が死と隣り合わせであるという現実を受け入れようと必死で、そのショックぶりは目にあまるほどに痛々しいものでした。韓国の徴兵は、仕事をしていても海外にいても、問答無用で帰国させられ、兵役制度に遣わされるそうで、常に60万人の若者が動員されています。徴兵制度の厳しさに耐え切れず、自殺をする人も少なくないそうです。なかでも、トルコの徴兵制度は、世界で有数のスバルタ指導だそうで、周辺国も恐れるほどなのだと。中東に位置する地域は、危機管理が徹底しているのでしょうか。今の日本には、義務としての徴兵制度はありません。最近の日本の若者は、概して草食男子だといわれ、女子にとって頼りがいを感じられないのも事実。フリーターやニートになるくらいだったら、日本男児全員がたくましくなるよう、1,2年は国のために仕えることもあってもいいのでは？任期を終えて、日本男児としての自覚と、体力的なたくましさ、そしてなにより心も鍛えられたら、日本も少し、変わるので？と正直何度も考えたことがあります。しかし、K子の現実を目の当たりにして、もし自分に彼や夫がいて、危険な目に合うと思うと……。恐ろしいばかりです。戦後75年が経った平和な日本に住む私たち。しかし、すぐお隣では、緊迫する韓国・北朝鮮問題など、対岸の火事だけではすまされない現実もあります。独女の私たちも、どう行動すれば将来の子どもたちのために、この幸せが続けられるか、個人から考えないといけない時期なのかもしれません。

草食 -> 1, 男子 -> 1(草食男子 -> 1)

similarity = 0.000 => これらの季節、お肌の天敵と言えば“紫外線”。マーケティング会社トレンドアーズ株式会社が、20、30代女性に「UVケア」に関する意識調査を実施した所、99%の人が「外出するとき、UVケアが必要」と回答。もはや、UVケアは女性にとって常識となっている事が分かります。アンチエイジングを目指す独女にとってもUVケアを見逃す事はできません。「紫外線が気になるのは、1日のうちどんなシーンですか？」という質問に対しては、最も多く挙がったのが「通勤時」で、半数以上が回答。「紫外線が気になる時間帯」については、最も多かったのが、「12時～15時」で83%。次いで「9時～12時」が67%、「～9時」(43%)と、働く女性がUVケアを意識するのは、朝の時間帯だという事が分かります。実際、「朝にUVケア」をしているのが87%にのぼり、「朝の通勤時間が一番紫外線を浴びる。(36歳・不動産広告デザイン)」「通勤時に日やけをしてしまうので欠かさずしている。(29歳・商社経理)」と、日焼けやシミを防ぐ為には「朝のUVケアがマストの様です。具体的なUVケアの方法としては、最も多かったのが「日やけ止めを塗る」で、全体の92%が回答。次いで、「日傘」(59%)、「帽子」(39%)と続いています。手軽に塗れてしまったりUV対策ができる「日やけ止め」が女性の支持を集めました。「日やけ止めは、1日に何回塗り直しますか?」という質問に対しては、平均で「0.94回」と、およそ1日1回塗り直していることが明らかに。汗をたくさんかいた時はもちろん、知らず知らずのうちに効果が低下しているのが不安で、つい何度も塗りなおしてしまいますが、日々忙しい、独女にとってはその時間すら惜しい所。また、肌への負担も気になります。また、「日やけ止めに求めるものは何ですか?」という質問によると、「日やけ止め効果」(93%)という日やけ止めにとって、マストの効果となる回答に次いで「肌への負担の少なさ」(88%)、「ベタつかないこと」(73%)と意見が多く、ただUVケアが出来る事だけでは無く、“お肌に優しいこと”が重要になってくる様です。そんな、UVケアと肌への優しさ両方を大切にしたい女性にオススメしたいのが、新しくなった日やけ止め「アネッサ」。地上のあらゆる紫外線をカットしてくれるだけでは無く、今までの日やけ止めにありがちだった、べたつきや白浮きが無く、サラサラの使い心地です。最近、紫外線をジリジリとお肌に感じながらも日やけ止めを使うことで「肌の負担になるのは嫌」と、使い慣れていた独女の皆さんは、ぜひ試してみては？詳しくはこちら・アネッサ - 資生堂

・類似度合い評価

similarity=0.074 の 1 番目の文書において、草食、男子という word が使われていたことと、直接草食男子という表現が使われていたことより、全文章の中で一番類似度が高いことについて納得できた。しかし、文書が長いせいか、1 番類似度の高い文章でも similarity = 0.074 となったのは低く感じられた。

similarity = 0.045 の 2 番目の文書においても 1 番目の文書の観点で行くと納得できる数値となった。

similarity = 0.000 の 3 番目の文書において、草食、男子の出現はそれぞれ 0 であったため、similarity = 0 になるのは納得できた。また、文書眺めてみても全く草食男子との関連のない文書であった。

婚カツ女子の場合

婚 カツ 女子

(0, 522)

(0, 1304)

カツ

女子

カツ、女子の2つに分けられていた。

similarity = 0.167 => 合コンやパーティー、そして料理教室から農業まで。さまざまなスタイルで男女の人気を集める婚カツ。初対面の男女が限られた時間で次の約束に向け、好意の相手に戦略を駆使し、やっと繋げた初回デート。それなのに、2度目の連絡がさっぱりというのはよくある事。その理由には、相手が思わず引いてしまう行動を知らずにとってしまっている可能性があるのは否めない。結婚紹介サイトのyoubrideが、会員向けに提供している恋愛相談投稿コーナーに寄せられた相談内容を見ると、婚カツ女子が初回デートで好む傾向が見えてくる。それが、洗練かつ清潔感あるシチュエーション。初回からお酒を楽しむようなムードィーすぎるレストランや、チープなファストフードはNG。初回のデートでは、ゆっくりとくつろげる空間で、会話を楽しみつつ相手をもっと深く知りたいという意見が多い。回答のひとつ、「初回デートがマクドナルドだった。騒がしい中で話しあわせられない。最悪。もう2度と会いたくない」といった、女子がゲンメツしてしまうシチュエーションはなるべく避けたい。また、35歳男性の「デート代を割り勘にしたい」との質問に対しても「割り勘でかまない」という、女子の意外な一面も伺える。29歳ボテコさん（仮名）の「私は割り勘派です。確かに時間を割いてお会いしていますが、それは男性の方も同じですからね。会ってあげているなんて言える身分でも無いですし、合わなくて後腐れ無くお別れできますし。もちろんお金は出さなくて良いよなんて言って貰えれば嬉しいですけどね」とのコメントしかり、軽めの食事なら負担も少ないから割り勘もOKが、女子の本音のようだ。しかし中には、「初めてお会いして割り勘だと相手に脈がないと思います」（35歳女性）、「最初のデートで割り勘は嫌ですね。がっくりきます」（40歳女性）とのシビアな回答があるので注意したい。結局、女子たちが希望する初回デートは、明るい時間内に、自分にも相手にも負担がない程度の金額で、ゆっくりと話がしたいというのが理想。なら、男性が初回デートでリサーチすべきは、お洒落なカフェやランチが楽しめるレストラン。これなら、シチュエーションでゲンメツされることはないはずだ。さらに、軽めの食事なら懐具合にも影響がないだろうから、「この人は！」と思う相手なら、なるべく奢る方が2度目のデートにつながる確率が高くなりそうだ。昨年実施した「独女通信」「youbride」の合同企画パーティーで、ジャーナリストの白河さんが行った婚カツレクチャーでも、次回へ繋ぐアドバイスとして、「男性の方にお願いしたいことは、最初の1回。例えばスター・バックスのコーヒー1杯だけでもおごってあげてください。そこだけで損をしている方がいます」と、ポイントを披露している。素敵なお出会いを、初回デートでもっともっと深い縁を結ぶよう、ぜひ応用してみてはいかがだろう。youbride.jp - 公式サイト

similarity = 0.045 => 独女編集部、独女代表Mです。韓国では、天安艦事件が起り物々しい雰囲気に包まれていますが、日本の独女にも、影響が飛び火するような出来事が起きました。それは先日、韓国人のカレを持つK子（27歳）から、衝撃の告白を受けました。「実は、カレシが徴兵されることになったの……」なんだか最近、様子がおかしいと思ったら……。何を話してもうわの空だった理由がわかりました。韓国に徴兵制度があるというのではなく、韓流スターのニュースなどでなんとなく知っているという女子も多いのではないかでしょうか？ただ、徴兵制度のない日本人の私たちにとって、その実情にピンと来ないのが本音のところ。時に、日本も徴兵制度とするべき、との意見を主張する著名人もいますが。しかし、韓国人のK子の彼に言わせると、徴兵制度は「牢屋にぶち込まれるようなもの」と思うほどに苦痛なものなのだそう。「でも、2年間で帰ってくるんだよね？」と、私が訪ねると、「新米で何の訓練も受けない若者の兵士は、危ない任務につかされることが多いみたい。最初の1ヶ月は、交通事故よりも死亡率が高いみたいなの」と、K子。思わずK子に「本末転倒じゃ……、訓練を受けてないと危険な任務もこなせないので？」と聞いてしました。「だから来週、仕事を急遽休んで、万が一に備えて、会いに行ってくるわ！」と話すK子も、彼が死と隣り合わせであるという現実を受け入れようと必死で、そのショックぶりは目にあまるほどに痛々しいものでした。韓国の徴兵は、仕事をしていても海外にいても、問答無用で帰国させられ、兵役制度に遣わされるそうで、常に60万人の若者が動員されています。徴兵制度の厳しさに耐え切れず、自殺をする人も少なくないそうです。なかでも、トルコの徴兵制度は、世界で有数のスパルタ指導だそうで、周辺国も恐れるほどなどとか。中東に位置する地域は、危機管理が徹底しているのでしょうか。今の日本には、義務としての徴兵制度はありません。最近の日本の若者は、概して草食男子だといわれ、女子にとって頼りがいが感じられないのも事実。フリーター・ニートになるくらいだったら、日本男児全員がたくましくなるよう、1,2年は国のために仕えることもあってもいいのでは？任期を終えて、日本男児としての自覚と、体力的なたくましさ、そしてなにより心も鍛えられたら、日本も少し、変わるのは？と正直何度も考えたことがあります。しかし、K子の現実を目の当たりにして、もし自分に彼や夫がいて、危険な目に合うと思う…………。恐ろしいばかりです。戦後75年が経った平和な日本に住む私たち。しかし、すぐお隣では、緊迫する韓国・北朝鮮問題など、対岸の火事だけではすまされない現実もあります。独女の私たちも、どう行動すれば将来の子どもたちのために、この幸せが続けられるか、個人から考えないといけない時期なのかもしれません。

similarity = 0.015 => 「わからないことがあったら、あそこにいる『おばさん』に聞いて」という同僚男性の声に気づいて顔をあげたカオリさん（33歳 メーカー勤務）。アルバイトの大学生たちに仕事の説明をしている同僚の視線は、間違いなくカオリさんに向いていた。その場の勢いというか雰囲気で、大学生たちに会釈したカオリさんだが、なぜ、同世代の同僚男性から「おばさん」と呼ばれなくてはいけないのか納得がいかない。さらに納得がいかなかったのは、その出来事を話したときの友人たちの反応だった。「大学生から見たら、おばさんかもね。残念だけど、そういう年になったのよ」とか「その場でムキッとなつても、かえってイタイだけ。カオリの会釈は『大人の対応』だと思うよ」といった話ばかり。同僚男性への批判めいた言葉はほとんどなく、カオリさんや自分たちへの慰めのような話ばかり飛び出した。友人たちも、会社やプライベートで似たような体験があるらしい。子どもがいる場合は、若くても自分のことを「おばさん」と言う人も少なくないが、未婚女性の場合は、20～30代、40代になっても「おばさん」と呼ばれることに抵抗を感じる人は多いようだ。「おばさん」という言葉には「外見を気にしない」「女性らしさを感じない」「老けて見える」といった見た目のイメージはもちろん、「図々しい・遠慮がない」など行動面でのマイナスイメージも含まれているからだろう。しかし、あって「おばさん風」或いは「おばさんキャラ」になることで、周囲と良い人間関係を築いている人もいる。ハツミさん（38歳 輸入関連）が勤務する会社の女性社員は、ほとんどが20代。いつの間にか30代はハツミさん1人になっていた。「数年前までは、20代の子たちと話を合わせたり、一緒に飲み会に言ったりしていたんですけど…。私も楽しくないし、20代の子たちだって、私に気を使っているようで、だんだんキツくなっちゃいました」（ハツミさん）ハツミさんの場合、自分から「私、おばさんだから」などとは決して言わない。身だしなみにも気を使っている。しかし、知らないアイドルなどの話題が出れば素直に「ねえねえ、その人って人気あるの？」などと聞き、気になるファッショニ女子がいれば、遠慮なく着こなしについて聞く。「ちょっと図々しいかなと思いつながらアレコレ聞いても、案外とみんな楽しげに教えてくれるし、話も盛り上がるんですよ。ときには、上司に遠慮なく言いたいこと言うこともあります。無理して若ぶっていたときよりも、開き直ってからのほうが、職場の人間関係も上手くいっています」（ハツミさん）「おばさん」という言葉が極度のマイナスイメージを持つようになったのは、「オバタリアン」という言葉が登場したころからだろう（1989年の流行語大賞・金賞を受賞）。「図々しく、羞恥心がなく、無神経で自分勝手な中年の女性たちを表す』代表的な言葉「オバタリアン」は、今、巷でいわれる「おばさんの定義」と重なる部分が大きい。どんなに気を使っていても、ときには、仕事やプライベートで悪意を感じる「おばさん」という言葉を聞くこともあるだろう。ムカつき、頭にくるかもしれない。ただ、そんなときに限って、イライラしていたり、「無理している」と感じていたり…ということもある。しかし、そんなときこそ、マイナスをプラスに変えてみたい。まずは、鏡で自分をチェックして、何が「おばさん」のイメージを醸しだしているのか確かめる。年齢とファッショニ、年齢と行動が合わなくなってきたいるかもしれない。心の中は大丈夫？ イメージチェンジの良いきっかけになれば、災い転じて福となるはず。余談になるが、お菓子やケーキのブランドには「∞おばさんのクッキー」「∞おばさんのチーズケーキ」といった名前をみかける。ふくよかな女性のキャラクターからは、親しみやすさとお菓子の美味しそうなイメージが感じられる。もし「おばさん」と呼ばれるならば、そんな親しみやすく優しい雰囲気を醸し出したいものだ。（オフィスエムツー／神田はるひ）

・類似度合い評価

上位から similarity = 0.167, 0.045, 0.015 となったが、草食男子同様、カツ、女子の word 数が多い順であった。文書の内容も”婚カツ女子”に関連した順番で上位から並んでいることがわかった。

Option

先ほどは DataFrame に対して、BoW を用いたが、word2vec を用いた場合とどう違いが出るのか気になったため、word2vec を用いて追加検証した。

ベクトル化をする際に用いた方法：Word2vec

(2)で選んだ固有表現：草食男子，婚カツ女子

草食男子の場合

[0.29928303 -0.03308427 0.3812382]
similarity = 0.354 => 「いいなーと思う30代独身男はみんな売却済だもんねー」というのは、独女たちにとつて、もはやお決まりのセリフ。30代独女たちに「出会い系」について聞いてみると、飲み会や友人の紹介で知り合う「いいな」と思う独身男性は大抵が20代半ばだそう。素敵な30代独身男性を見つけるのは至難の業なのだ。そんな数少ない(?)30代独身男性ケンタクンと飲み会で知り合ったミサキさん(34歳)は、ケンタクンに対し「頼もしい感じでグイグイ引っ張ってくれそう」と好印象。お互い電話番号とメアド交換をした直後、彼から電話がきたという。「最初の電話で彼自身のことを延々と2時間聞かされました。一語一語酔いしれながら自分ヒストリーを語るっていうのかな。さすがに2時間は疲れちゃったけど、いい人そうなのでアリかなと思ったんですね」というミサキさん。その後、彼と食事の約束をして初デートに挑んだ。「彼の話は、とにかく自分の夢物語ばかり。映画は『ノットティングヒルの恋人』が好きで何十回も観てるだとか、海外で音楽プロデューサーをやりたいだとか、現実味のない話を語っては一人悦に入っていました。だって、実際は30すぎの普通のサラリーマンですからね。もちろん、それ以来会っていません」モテない男性のダメな部分ランキング(gooランキング調べ)によると、「自分の話ばかりする人」が5位にランキング入り。また、今回の取材でも30代男性に限らず「自分の話ばかりする人はイヤ」という意見が圧倒的が多く、その他、「人の話をきかない人」「自慢ばかりする人」「面倒くさい人」と続いた。飲み会で隣に座った30代独身男性タツヤクンから「男は年収だ」と言われたマキさん(35歳)は、「そんなに自慢するほどの年収でもないので、『俺、年収○○○万だから』と豪語してました。『男はカネだ!』という時代って終わっていませんか?」その後、何度か彼から電話がありましたが相変わらず自慢ばかり。モテ自慢、エリート自慢、仕事できる自慢。悪いけど正直、そんなにモテそうな人ではありませんでしたよ(笑)」また、ジュリさん(30歳)は、よく行くバーで何度か顔を合わせたことのある30代独身男性リョウケンからデートに誘われた。「まあ、成り行きでホテルに行きました。そこから発展する恋愛もアリだと思っているので。Hをした後、『オマエ、オレのこと好きになっただろ』って。いきなりオマエ呼ばわりだし、昔のドラマのようなセリフで自己陶酔している彼に興奮めにしてしまって、何も言えませんでした」その後、彼から着信や女らしいメールが何度も来て困ったというジュリさん。残念なのは、もうなじみのバーに行けなくなってしまったことだ。最後に、ユウコさん(33歳)のエピソードをご紹介しよう。「飲み会で知り合った30代独身男性カズトシ君と初めてのデートをした時、彼が『芸能人で誰が好き?』と聞いてきたので、適当に『松潤』と答えたら、『俺じゃん!』と返答され、本当に困りました。冗談ではなくて本気だったので、ポカーンとしてしまって(笑)。うーん、松潤に似ているとしたら顔が濃いところだけかな。リリー・フランキーさんあたりに『オマエは松潤』というよりは、ねづっちに似てる』とか言つてもらって、目を覚ましてもらいたいですね。彼はかなりの勘違い野郎だけど、今のところ許せる範囲なのでおつきあいしています』草食男子に物足りなさを感じている独女たちにとって、ちょっとくらいオレオレ的なところがある男は非常に魅力的なのだが、自分の話ばかり、自慢ばかり、面倒くさいオレオレ男子ともなると手に負えない。妥協するべきか、このまま突き進むべきか。独女たちにしてみても、妥協できない自分に「これくらいの我慢は必要なかも」と自己嫌悪に陥り、妥協したらしくて「これでよかったのかな」と躊躇し、どちらも答えが出せないのである。しかし、どこかで踏ん切りをつけることも必要かもしれない。草食でもない、オレオレでもない、脂がのっている30代男性はどこにいるのやら。あ、そういう人は街でベビーカー押してるのか...。(オフィスエムツー/堂ナツコ)

similarity = 0.346 => 合コンやパーティー、そして料理教室から農業まで。さまざまなスタイルで男女の人気を集める婚カツ。初対面の男女が限られた時間で次の約束に向け、好意の相手に戦略を駆使し、やっと繋げた初回デート。それなのに、2度目の連絡がさっぱりというのはよくある事。その理由には、相手が思わず引いてしまう行動を知らずにとっている可能性があるのは否めない。結婚紹介サイトのyoubrideが、会員向けに提供している恋愛相談投稿コーナーに寄せられた相談内容を見ると、婚カツ女子が初回デートで好む傾向が見えてくる。それが、洗練かつ清潔感あるシチュエーション。初回からお酒を楽しむようなムードィーすぎるレストランや、チープなファーストフードはNG。初回のデートでは、ゆっくりとくつろげる空間で、会話を楽しみつつ相手をもっと深く知りたいという意見が多い。回答のひとつ、「初回デートがマクドナルドだった。騒がしい中で話しも落ち着いてできない。最悪。もう2度と会いたくない」といった、女子がゲンメツしてしまうシチュエーションはあるべく避けたい。また、35歳男性の「デート代を割り勘にしたい」との質問に対しては「割り勘でかまない」という、女子の意外な一面も伺える。29歳ボテコさん(仮名)の「私は割り勘派です。確かに時間を割いてお会いしていますが、それは男性の方も同じですからね。会ってあげているなんて言える身分でも無いですし、合わなくても後腐れ無くお別れできますし。もちろんお金を出さなくて良いよなんて言って貰えれば嬉しいですけどね」とのコメントしかり、軽めの食事なら負担も少ないのから割り勘もOKが、女子の本音のようだ。しかし中には、「初めてお会いして割り勘だと相手に脈がないと思います」(35歳女性)、「最初のデートで割り勘は嫌ですね。がっくりきます」(40歳女性)とのシビアな回答があるので注意したい。結局、女子たちが希望する初回デートは、明るい時間内に、自分にも相手にも負担がない程度の金額で、ゆっくりと話がしたいというのが理想。なら、男性が初回デートでリサーチすべきは、お洒落なカフェやランチが楽しめるレストラン。これなら、シチュエーションでゲンメツされることはないはずだ。さらに、軽めの食事なら懐具合にも影響がないだろうから、「この人は!」と思う相手なら、なるべく奢る方が2度目のデートにつながる確率が高くなりそうだ。昨年実施した「独女通信」「youbride」の合同企画パーティーで、ジャーナリストの白河さんが行った婚カツレクチャーでも、次回へ繋ぐアドバイスとして、「男性の方にお願いしたいことは、最初の1回。例えばスタバックスのコーヒー1杯だけでもおごってあげてください。そこだけ損をしている方がいます」と、ポイントを披露している。素敵な出会いを、初回デートでもっともっと深い縁を結べるよう、ぜひ応用してみてはいかがだろう。youbride.jp - 公式サイト

similarity = 0.342 => 独女編集部、独女代表Mです。韓国では、天安艦事件が起こり物々しい雰囲気に包まれていますが、日本の独女にも、影響が飛び火するような出来事が起こりました。それは先日、韓国人のカレを持つK子（27歳）から、衝撃の告白を受けました。「実は、カレシが徴兵されることになったの……」なんだか最近、様子がおかしいと思ったら……。何を話してもうわの空だった理由がわかりました。韓国に徴兵制度があるといふのは、韓流スターのニュースなどでなんとなく知っているという女子も多いのではないかでしょうか？ただ、徴兵制度のない日本人の私たちにとって、その実情にピンと来ないのが本音のところ。時に、日本も徴兵制度をとるべき、との意見を主張する著名人もいますが。しかし、韓国人のK子の彼に言わせると、徴兵制度は「牢屋にぶち込まれるようなもの」と思うほどに苦痛なものなのだそう。「でも、2年間で帰ってくるんだよね？」と、私が訪ねると、「新米で何の訓練も受けてない若者の兵士は、危ない任務につかされることが多いみたい。最初の1ヶ月は、交通事故よりも死亡率が高いみたいなの」と、K子。思わずK子に「本末転倒じゃ……、訓練を受けてないと危険な任務もこなせないので？」と聞いてしまいました。「だから来週、仕事を急遽休んで、万が一に備えて、会いに行くてくるわ！」と話すK子も、彼が死と隣り合わせであるという現実を受け入れようと必死で、そのショックぶりは目にあまるほどに痛々しいものでした。韓国の徴兵は、仕事をしていくても海外にいても、問答無用で帰國させられ、兵役制度に遭われるそうで、常に60万人の若者が動員されています。徴兵制度の厳しさに耐え切れず、自殺をする人も少なくないそうです。なかでも、トルコの徴兵制度は、世界で有数のスバルタ指導だそうで、周辺国も恐れるほどなのだと。中東に位置する地域は、危機管理が徹底しているのでしょうか。今の日本には、義務としての徴兵制度はありません。最近の日本の若者は、概して草食男子だといわれ、女子にとって頼りがいが感じられないのも事実。フリーターやニートになるくらいだったら、日本男児全員がたくましくなるよう、1,2年は國のために仕えることもあってもいいのでは？任期を終えて、日本男児としての自觉と、体力的なたくましさ、そしてなにより心も鍛えられたら、日本も少し、変わるのは？と正直何度か考えたことがあります。しかし、K子の現実を目の当たりにして、もし自分に彼や夫がいて、危険な目に合うと思う…………。恐ろしいばかりです。戦後75年が経った平和な日本に住む私たち。しかし、すぐお隣では、緊迫する韓国・北朝鮮問題など、対岸の火事だけではすまされない現実もあります。独女の私たちも、どう行動すれば将来の子どもたちのために、この幸せが続けられるか、個人から考えないといけない時期なのかもしれません。

婚カツ女子の場合

[0.27563483 0.00055947 0.25665346]
similarity = 0.430 => 「初めて“婚活”に勝てる学校出来ました！」ふと、ネット上でそんなキャッチフレーズを見かけたのでクリックしてみると、今年2月に東京・青山に開校したという「青山結婚予備校 インフィニスクール」というところのものだった。結婚をするための予備校……ついに婚活ブームもここまできたか。一体結婚予備校とはどんな場所なのか？そもそも結婚できる方法というものは予備校で学ぶべきものなのか？そして一体どんな人が通っているのか？通いたいかどうかは先ず置いておいても、独女だったやはりいろいろ興味が出てくるのではないだろうか。ということで知られる「結婚予備校」に足を踏み入れてみることにしたのである。まず、こちらのスクールに通っている人達は20代半ばから30代後半くらいの会社員の方がメインのこと。20代半ばといったら一番の結婚適齢期だし、正直こういった学校に通わなくても貰い手がありそうな気がするのですが……。「やはり時代的なものもあって、若い方は安定志向が強く、早く結婚したいという方が増えています。逆に30代女性は可哀想なんですよ。この世代は男性よりも女性のほうが人数が多いから、取り残される人が多いのは当然です」こう語るのは学校を主催する校長の佐竹悦子さん。さらに「生徒さんの傾向としては前向きで、自分磨きが好きな方が多いですね。またいわゆる一般的の結婚相談所に通ったことがなく、まさに『独女通信』を読んでいるような普通の女性が多いと思います」（広報 佐藤留美さん）そしてこちらの受講内容だが、こちらの通称「婚活女子力強化メソッド」という講座の内容をざっと紹介すると「結婚女子力メイクアップ講座」「恋愛メールマナー講座」「デート・食事マナー講座」「女子力MAXコーディネイト講座」など。まず特徴としては外見磨きや一般的なマナーの向上に力を入れていることが分かる。この2つはやはり結婚において重要ということでしょうか？「外見は重要ですよ。人の印象は最初の6秒で93%が決まるという有名な法則がありますよね。これは本当にその通りなのです。バッくみてタイプじゃないと判断したら、男性はその女性を“OKポケット”に入れることはまずありません。そうなるとその先もないんですね。逆に女性は後から印象が変わっても多角的に男性を評価することができますが、男性はダメ！第一印象が悪かったらそこで終わります」（佐竹さん）き、厳しい……。しかしだからといって「『外見が良くなきゃダメ』という表層的なものばかりが大事というわけではないんですよ」とフォローするのは広報の佐藤さん。「大事なのは“どこに向かって訴求しているのか”ということです。誰に向かってモテたいのか？もし恋愛はうまくいくのに結婚には至らないということであれば、しかしたら訴求の対象が間違っていたのかもしれません。つまり“彼女”として見られたいのか“お嫁さん”として見られたいのか、ということです」（佐藤さん）。つまり「彼女」と「お嫁さん」とでは、目指す外見磨きの方法も違うということ。ちなみにこちらが考える「彼女」と「お嫁さん」の目指す方向の違いは「一生を共にできるかどうか、一緒に生活をするイメージができるかどうか？」ということだと。」「一言でいえば“快適”ということです。結婚に“刺激”はあまり必要ありませんし、特に男性が一番嫌うのは女性のヒステリーです」（佐竹さん）。ちなみに通っている生徒さんの中には、「長く交際しているのになかなか結婚できない」という彼氏とスッパリ別れ、気分一新で入校した女性もいるとか。「交際したら最低でも2年内に結婚を決意させられなければもう無理です。人の気持ちは1年数ヶ月くらいしか持ちません。もちろん例外はありますけど、女性はやはり早く結婚しないと、ご自身の人生設計も狂いますからね」（佐竹さん）なお、こちらでは結婚講座のほかに「結婚相談所機能」も併せ持ち、日本結婚相談所連盟に所属する、23,000人の会員から結婚相手を選び、お見合い申し込みができるようになっている。つまり「結婚の戦略」と「出会いの場」が両方提供される仕組みになっているのだ。そして気になる費用はスクールのみのコースの場合3ヶ月のカリキュラムで（1年間有効）、入会金等すべて合わせて20万円。さらに結婚相手紹介機能のみのコースであればこちらも20万円。2つのコースを同時に申し込むと30万円となっている。これを高いと思うか安いと思うかは人それぞれの判断だろう。結婚したいけどできない、そんな独女のの方はたくさんいるだろう。もちろん自分の力だけで結婚できればそれに越したことはないが、佐竹さんのような“結婚のプロ”に後押ししてもらい、結婚を勝ち取るのも一つの方法であるのは間違いない（高山恵）青山結婚予備校 インフィニスクール

similarity = 0.427 => 合コンやパーティー、そして料理教室から農業まで。さまざまなスタイルで男女の人気を集める婚カツ。初対面の男女が限られた時間で次の約束に向か、好意の相手に戦略を駆使し、やっと繋げた初回デート。それなのに、2度目の連絡がさっぱりというのはよくある事。その理由には、相手が思わず引いてしまう行動を知らずにとってしまっている可能性があるのは否めない。結婚紹介サイトのyoubrideが、会員向けに提供している恋愛相談投稿コーナーに寄せられた相談内容を見ると、婚カツ女子が初回デートで好む傾向が見えてくる。それが、洗練かつ清潔感あるシチュエーション。初回からお酒を楽しむようなムードィーすぎるレストランや、チープなファストフードはNG。初回のデートでは、ゆっくりとくつろげる空間で、会話を楽しみつつ相手をもっと深く知りたいという意見が多い。回答のひとつ、「初回デートがマクドナルドだった。騒がしい中で話しも落ち着いてできない。最悪。もう2度と会いたくない」といった、女子がゲンメツしてしまうシチュエーションはなるべく避けたい。また、35歳男性の「デート代を割り勘にしたい」との質問に対しては「割り勘でかまない」という、女子の意外な一面も伺える。29歳ボテコさん（仮名）の「私は割り勘派です。確かに時間を割いてお会いしていますが、それは男性の方も同じですからね。会ってあげているなんて言える身分でも無いですし、合わなくて後腐れ無くお別れできますし。もちろんお金を出さなくて良いよなんて言って貰えれば嬉しいですけどね」とのコメントしかり、軽めの食事なら負担も少ないので割り勘もOKが、女子の本音のようだ。かし中には、「初めてお会いして割り勘だと相手に脈がないと思います」（35歳女性）、「最初のデートで割り勘は嫌ですね。がっくりきます」（40歳女性）とのシビアな回答があるので注意したい。結局、女子たちが希望する初回デートは、明るい時間内に、自分にも相手にも負担がない程度の金額で、ゆっくりと話がしたいというのが理想。なら、男性が初回デートでリサーチすべきは、お洒落なカフェやランチが楽しめるレストラン。これなら、シチュエーションでゲンメツされることはないはずだ。さらに、軽めの食事なら懐具合にも影響がないだろうから、「この人は！」と思う相手なら、なるべく奢る方が2度目のデートにつながる確率が高くなりそうだ。昨年実施した「独女通信」「youbride」の合同企画パーティーで、ジャーナリストの白河さんが行った婚カツレクチャーでも、次回へ繋ぐアドバイスとして、「男性の方にお願いしたいことは、最初の1回。例えばスター・バックスのコーヒー1杯だけでもおごってあげてください。そこだけで損をしている方がいます」と、ポイントを披露している。素敵なお会いを、初回デートでもっともっと深い縁を結ぶよう、ぜひ応用してみてはいかがだろう。youbride.jp - 公式サイト

similarity = 0.416 => 女性の夢と憧れを実現する場といえば、結婚披露宴だ。そこは、女性の「プロデュース力」が試される場でもある。会社員の麻巳子さん（仮名／32歳）も、そのプロデュース力を発揮した一人だが、結婚式を経験した今「何百万という費用がかかる結婚式は、二人だけでなく、両家の金銭感覚の違いが明らかになる場。そこをどう乗り越えるかで、その後の結婚生活も変わってくる」と、実感しているという。麻巳子さんの場合、新郎にほとんど貯金がなかったため、結婚式の費用を麻巳子さんの貯金と麻巳子さんの両親が準備しておいてくれた支度金でまかなうことになったという。「でも、私たちが利用した会場では、事前に全額振り込みなければならなかつたため、ほんの少しだけ足りなかつたんです。そこで、彼の両親は、特にお金に困っているわけではなく、結婚式の費用を私の貯金と、私の親の援助でまかなつていると知っていたはずなのに……」披露宴を終えて結婚生活を送るうち、「とにかく自分はお金を出さずに済ませたい」という彼の両親の考え方方が、新郎にもしっかりと引き継がれていることを実感したという。「共働きなので生活費は折半なのですが、夫は『今月はいろいろあって苦しいから』と、勝手に自分の生活費を減額したりする。今後、子供が生まれても、出産やお宮参りなどの行事のたびにお金で悩んだり、両家の援助格差を感じるのかと思うと憂鬱です」。結婚5年目の聖美さん（仮名／35歳）も、夫やその実家との金銭感覚のズレに悩まされたひとり。「夫は『若いうちは貯金なんですか』という親の話を真に受け、貯金をしたことになかった。そこで結婚が決まった時、毎月二人で同じ額を貯金することになりました」。何とか貯金もでき、聖美さんの親が用意していた結婚資金と合わせて結婚資金をまかなうことになったが……。「彼の親からは特に援助の申し出はありませんでした。それは気にならなかつたのですが、私たちが必死にやりくりしているのに、『この人の引き出物はいくらにしなさい』と一方的に言ってくるので困りました。『資金が限られているので』と伝えましたが、『言う通りにしろ』の一点張り。受け入れたら、最終的に新郎の親も援助してくれることになりました」前出の麻巳子さん同様、聖美さんもその後の結婚生活で、夫の金銭感覚のルーズさに悩んだという。披露宴や新居の準備など、結婚の際はとにかくお金の問題がたくさん出てくるもの。その時、違和感やズレを感じたカップルは、その後の結婚生活でも金銭感覚のズレに悩みやすいのかもしれない。一方、「相手の親が出しそぎて困る」というケースもある。会社員の夫と暮らす静香さん（仮名・34歳）の場合、「金も出すぐ、口も出す」という夫の親に戸惑ったという。「結婚式で『こんな演出をしなさい』から始まり、私たちが家を買った時は、勝手に家中の電化製品を発注してました。『足りない分はお前たちが払え』と言われたので、私たちがいるないと判断したものは、買うのを拒んだのですが、『知り合いの店に頼んだから、断るのは恥ずかしい』と怒られました」。頼んでもいないのに援助を押し付けられ、振り回されているという。「夫の実家は裕福なので、夫も親に援助してもらうことに抵抗がないみたい。『自分のことは自分で』と育った私には、ちょっと違和感がありますね」。育った環境によって金銭感覚は異なるのは当然だが、価値観が近い方が問題は生じにくいかもしれない。フリーデザイナーの史恵さん（仮名／39歳）は、結婚の決め手になったのが「相手と金銭感覚が同じだったこと」だとのこと。「お互いに子供の頃、お金で苦労していたこと、お金がなければないなりの生活ができる」と。それがあったから、結婚に踏み切ました。史恵さんたち夫婦は結婚後もお金でもめることはほとんどないそうだ。幸せで安定した結婚生活を実現するのは、「お金がたくさんあること」ではなく、「二人が同じ価値観でお金と向き合っていけること」なのかもしれない。（栗頭渋子）

“草食男子”、“婚カツ女子”的2つの固有表現を用いて BoWとの比較

まず、全体的に word2vec が出す similarity の数値が BoW に比べて高かった。そのため、BoW を用いた実行結果の”草食男子”的3番目は similarity = 0 で全く関連性のない文書が输出されたことに対して、word2vec は3番目において similarity = 0.342 で内容も”草食男子”という word にふさわしいものであると感じた。全体を通して、word2vec は BoW と比べて similarity の値が高く、内容も主観的に word に乗っ取られたものと感じ取れたため、用意

した文書(DataFrame)には word2vec が適していると考えられる。

・(4) 5分割検定

X には vector_w2v、Y には df[“class”]を設定し行った。

Df[“class”]は後付けのクラスであり、text を読んで恋愛や結婚関係である記事(text)を”love”、それ以外を”others”としてラベリングした。

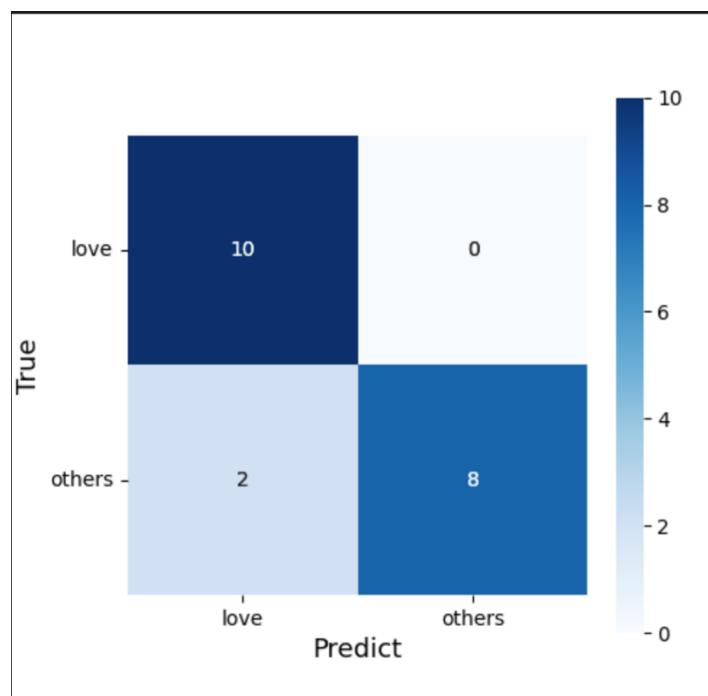
モデルは LinearSVC、SVC を採用。それぞれハイパラメータを C=0.5, 1.0, 1.5 に設定し、評価を行った。

```
LinearSVC
C = 0.5: scores=[0.25 0.25 0.25 0.75 0.25], average=0.350
C = 1.0: scores=[0.75 1. 0. 0.5 0.25], average=0.500
C = 1.5: scores=[0.5 0.25 1. 0.25 0.25], average=0.450

SVC
C = 0.5: scores=[0. 0.75 0.25 0.25 0.5 ], average=0.350
C = 1.0: scores=[0.5 0.25 0.5 0.25 0.5 ], average=0.400
C = 1.5: scores=[0.5 0.5 0.25 0. 0.25], average=0.300
```

結果 LinearSVC が SVC よりもハイパラメータが全ての場合において、評価が上回った。その中でも C=1.0 のときの LinearSVC が一番評価が高い結果となった。

LinearSVC(C=1.00)のときの混合行列 plot 結果



考察

上の plot 画像において、"love"であると予想された text(12 件)中、実際に"love"とラベリングされていたものは 10 件であった。また、"others"と予想された text(8 件)中、実際に"others"とラベリングされていたものは 8 件であった。ただ混合行列を print 文で出力した場合は 2 次元配列となり、今回用いた Seaborn のヒートマップを用いた方がより美しく可視化されていたことがわかった。今回は class 分けが 2 つのみであったが、それ以上の class 分けがされた dataframe に対して使用するとグラデーション等の機能がより有効なものになると考える。

参考文献

- ・ Seaborn のヒートマップで混同行列を美しくつくる, <https://evaluelog.com/post-122/> , 2022/07/02
- ・ Scikit-learn でよく使う分類モデルまとめ, <https://betashort-lab.com/データサイエンス/機械学習/scikit-learn でよく使う分類モデルまとめ/>, 2022/07/02